



偉人 坪内逍遙

坪内平右衛門 ②

平右衛門は隠居後、家の中にいることが多く、随筆・新聞・雑誌などを読んで過ごしていました。

夏の退屈した時などは、蚊が刺すとわざと吸わせておいて、おもむろにぴしりと蚊を血まみれにして退治するのです。背中など手の届かないところは、逍遙を呼び付けるのが日課となっていました。蚊を逃すと恐ろしく不機嫌になるのです。そこで、逍遙は退治したと嘘をつくこともありました。

(「私の寺小屋時代」より)



父…平右衛門 (逍遙 筆)